

平成30年5月15日

平成30年度文化庁文化交流使の指名

文化庁では、平成15年度より、芸術家、文化人、研究者等、文化に携わる人々を一定期間諸外国へ派遣する「文化庁文化交流使事業」を実施しています。（別紙2参照）

この度、以下のとおり、平成30年度「文化庁文化交流使」を指名しましたので、お知らせいたします。略歴は別紙を参照ください。

平成30年度文化庁文化交流使 ※敬称略，50音順（別紙1，3参照）

- かしまつ やすひろ
・笠松 泰洋（作曲家）
- たなか こおき
・田中 功起（アーティスト）
- たまがわ な な ふく
・玉川 奈々福（浪曲師，曲師）
- よねかわ としこ
・米川 敏子（生田流箏曲・地歌 演奏家）

<担当>文化庁長官官房国際課

課 長 大野 彰子（内線2845）
国際文化交流室長 秋山 麻里（内線3153）
国際文化交流室室長補佐 木南 秀隆（内線3166）
振興係長 内 誠（内線3167）
電話：03-5253-4111（代表）

平成30年度文化庁文化交流使

| 氏名 | 年齢 | 性別 | プロフィール | 活動国・地域(予定) | 期間(予定) | 主な活動内容(予定) |
|---------------------|----|----|--------------|--|--------------------------------|---|
| かさまつ やすひろ 笠松 泰洋 | 58 | 男 | 作曲家 | イギリス, オーストリア, エクアドル, チリ, ペルー, アルゼンチン | 約3か月 (平成30年11月中旬～平成31年2月中旬) | 各国の音楽家達との共同作業で, 自作の弦楽四重奏曲のコンサート, 朗読とダンスを含む『四谷怪談』や室内オペラ『人魚姫』の上演を行うことで, 音楽を通じた文化的な相互理解を深める。 日本の伝統に根ざした素材に, 西洋音楽の技術を取り入れつつ, 新しい音楽と舞台の可能性を訪問国の音楽家とともに探り, その成果を各地で発表する。 |
| たなか こおき 田中 功起 | 42 | 男 | アーティスト | アメリカ, ブラジル, ウルグアイ, スイス | 約8か月半 (平成30年7月上旬～平成31年3月中旬) | 各国の展覧会に参加し, 日本の現代アート発信を行い, 併せて講演会を含む様々な機会を活用してその魅力を伝える。 また, 日米の交流の歴史についてのフィールドワーク等を通じて, 新たなネットワーク構築やプロジェクトのベースとなるリソースを収集する。 |
| たまがわ ななふく 玉川 奈々福 | - | 女 | 浪曲師, 曲師 | イタリア, スロベニア, オーストリア, ハンガリー, ポーランド, キルギス, ウズベキスタン | 約1か月半 (平成30年5月下旬～7月上旬) | 日本の比較的新しい「語り芸」である「浪曲」。演者と三味線が, 譜面もない中, 息を合わせてアドリブで演奏しながら, 一つの物語を描いていく芸能の公演を各国で行い, 日本の大衆芸能である「浪曲」の魅力を伝える。 |
| よねかわ としこ 米川 敏子 | 67 | 女 | 生田流箏曲・地歌 演奏家 | カザフスタン, イギリス, ドイツ | 約1か月 (平成31年2月中旬～3月中旬) | 箏曲の古典と現代曲を紹介する演奏会他, 現地の西洋音楽の演奏者と共演も行い, 日本音楽への親近感を高める。また邦楽に関心を持つ大学生・大学院生に対し, 自作品を映像で見せながら日本音楽の特徴をレクチャーし, 日本音楽に対する理解を深める。 |

文化庁文化交流使事業（Japan Cultural Envoy）について

【目的・趣旨】

文化庁では、芸術家・文化人等を一定期間「文化交流使」に指名し、世界の人々の日本文化への理解の深化につながる活動や、諸外国の芸術家・文化人等とのネットワークの形成・強化につながる活動を展開している。

【概要】

文化交流使の活動の概要は以下のとおり。

① 概要

芸術家・文化人等を海外へ派遣し、それぞれの専門分野における実演、実技指導、講演、講義、上映、展示、共同制作、情報交換、情報発信等を行う。

※芸術家・文化人等には、複数の芸術家・文化人等で構成された1組の文化交流使とみなすことがふさわしいと文化庁が判断したものも含まれる。

② 指名期間

原則として1か月以上12か月以内（最長1年）

※1か月につき8回以上、文化交流使としての活動を行う。

③ 文化庁の負担

交通費、現地滞在費（定額の宿泊費と日当）、現地での活動経費（活動期間に応じた定額の謝金）等

【活動実績】

平成15年度から29年度までに、伝統音楽や舞台芸術、生活文化やポップカルチャーといった多様な分野で活躍する芸術家・文化人等、延べ133名と26組（団体）の文化交流使が世界82か国で活動を行っている。

※実績は、現地滞在者型（平成15年度～平成21年度）及び短期指名型（平成20年度～25年度）を含む。

【指名手続】

・文化交流使は、「文化交流使事業委員会」（※）の推薦を経て、文化庁長官によって指名される。

※「文化交流使事業委員会」は、文化交流使事業の適正・効率的な執行を担保するため、文化庁長官の下に置かれる委員会であり、関係行政機関、学識経験者等から構成される。

・候補者選定に当たっては、外務省在外公館及び国際交流基金海外事務所の協力を受け、諸外国における芸術家・文化人等のニーズ調査を行っている。

平成30年度文化庁文化交流使 略歴

(敬称略・50音順)

- かしまつ やすひろ
笠松 泰洋 (作曲家) 1
- たなか こおき
田中 功起 (アーティスト) 2
- たまがわ ななふく
玉川 奈々福 (浪曲師, 曲師) 3
- よねかわ としこ
米川 敏子 (生田流箏曲・地歌 演奏家) 4

かさまつ やすひろ
笠松 泰洋 (作曲家)

【出生地】福井県福井市

【生年月日】1960年1月11日

【学歴】東京大学文学部美学芸術学科卒業

作曲を故三善晃、ピアノを故ゴールドベルク山根美代子、オーボエを故岩崎勇の各氏に師事。室内楽からミュージカル、オペラまで幅広く作曲して発表。また、故蜷川幸雄作品をはじめとする演劇、森山開次や平山素子のダンス作品、映画・テレビの映像作品等に数多くの音楽を提供している。最近の仕事としては、音楽劇『星の王子さま』（2015～2016年水戸芸術館等公共ホール共同制作、青木豪台本、演出）、『戦艦武蔵』（2016年NHKスペシャルドラマ、岡崎栄台本、監督）、『Hybrid』

（2016年新国立劇場制作、平山素子振付け、出演、サンセバスチャンフェスティバル参加）、『神の子勸進帳』（2017年石川県立音楽堂制作、森山開次振付け、出演）、『忠臣蔵』（2017年新橋演舞場）の音楽を担当。2018年には劇団四季『恋に落ちたシェイクスピア』、2018年福井しあわせ元気国体の式典前演技の音楽も担当予定。オーボエとオーボエ系民族楽器（ズルナ、メイ）を演奏し、様々なレコーディングやライブに参加、また、新オリエント楽派、桜バンドのメンバーとしても活動している。クリスタルアーツ所属。



撮影：柴田

【ウェブ】<http://blogs.yahoo.co.jp/synlogue>

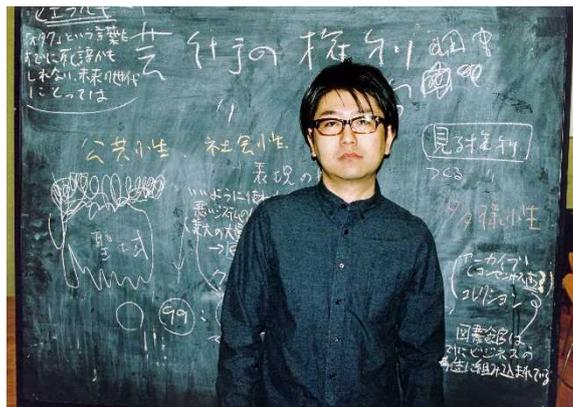
たなか こおき
田中 功起 (アーティスト)

【出生地】栃木県芳賀郡益子町

【生年月日】1975年12月6日

【学歴】東京造形大学造形学部美術学科絵画専攻卒業
東京藝術大学大学院美術研究科修士課程修了

一時的な人びとの集まりを組織し、集団の行為を記録するという方法論を用いたプロジェクトを多数行う。人びとの営みの中に生じる政治的な契機に関心がある。



撮影：題府基之

【略歴】

- 1998 ウィーン芸術アカデミー（オーストリア）に短期留学
- 2000 東京造形大学造形学部美術学科絵画専攻卒業
- 2004 アジアン・カルチュラル・カウンシルの助成によりロケーション・ワンに参加，ニューヨークに滞在
- 2005 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程修了
ポーラ芸術振興財団の助成及びフランス政府給費留学生としてパヴィリオン（パレ・ド・トーキョー）に参加，パリに滞在
- 2006 台北ビエンナーレに参加
- 2008 光州ビエンナーレに参加
- 2009 文化庁新進芸術家海外研修制度にて渡米し，その後2016年までロサンゼルスに滞在
- 2011 ヨコハマ・トリエンナーレに参加
- 2012 「Made in L.A.」 ハマー美術館（ロサンゼルス）に参加
- 2013 ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展で日本館として特別表彰受賞
カリフォルニア・パシフィック・トリエンナーレに参加
- 2015 ドイツ銀行グループ「アーティスト・オブ・ザ・イヤー」に選出
「A Vulnerable Narrator」 ドイツ銀行クンストハレ（ベルリン）にて個展
- 2016 「共にいることの可能性、その試み」水戸芸術館にて個展
リヴァプール・ビエンナーレに参加
- 2017 彫刻プロジェクト（ミュンスター）に参加
「Provisional Studies (Working Title)」クンストハウス（グラーツ）にて個展
ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展に参加

【ウェブ】<http://www.kktnk.com/> (英語サイト)

【出生地】神奈川県横浜市

【生年月日】－

【学歴】上智大学文学部卒業

1994年日本浪曲協会主宰三味線教室に参加。1995年玉川福太郎に入門。師の勧めにより2001年より浪曲師としても活動。2004年「玉川福太郎の徹底天保水滸伝」全5回、2005年「玉川福太郎の浪曲英雄列伝」全5回プロデュース。2006年本橋成一監督作品『ナミイと唄えば』出演。同年12月、芸名を美穂子から奈々福に改め名披露目。様々な浪曲イベントをプロデュースする他、自作の新作浪曲も手掛け、他ジャンルの芸能・音楽との交流も多岐にわたって行う。2012年、一般社団法人日本浪曲協会理事に就任。



撮影：御堂義乗

【略歴】

- 2008 浅草公会堂にてヴェルディ・オペラ『椿姫』の狂言回し（語り部）としてオーケストラと競演
- 2009 寺山修司原作『新宿お七』を浪曲化
- 2010 文楽の竹本千歳大夫と鶴澤清二郎を迎え「義太夫節と浪花節の会」をプロデュース
春野恵子と浪曲漫才ユニット「あたまわシスターズ」を組み「浪曲タイフーン！」の公演を開始
- 2011 上野の森美術館にて浪曲と琵琶とのコラボレーション『音曲百人一首』を披露
- 2012 明治神宮における「明治天皇百年祭」にて浪曲『明治天皇』を製作、口演、奉納
『悲願千人斬りの女』の長編浪曲一挙口演の独演会を再演
- 2013 NHK東西浪曲大会初出演
公演「浪曲からパンソリへ、パンソリから浪曲へ～半島と列島を結ぶ芸能の道、路上の声～」インターネットラジオ「玉川奈々福のほとぼしるラジオ！」を開始
京都造形芸術大学非常勤講師として講義を担当
- 2014 明治神宮の昭憲皇太后百年祭にてオリジナル浪曲『浪曲 昭憲皇太后』を製作、口演、奉納
渋谷ユーロライブにて開催されている「渋谷らくご」に定期出演
木馬亭にて能と女流義太夫と浪曲とのコラボ口演「のう、じょぎ、ろう！」をプロデュース
- 2015 能楽師ワキ方・安田登主催プロジェクトにて神話『イナンナの冥界下り』を初演（語り、三味線）
上方落語定席「天満天神繁昌亭・昼席」に東京の浪曲師として初出演
木馬亭にて「浪曲破天荒列伝」全5回開催。韓国・ソウルにて浪曲公演
- 2017 「玉川奈々福がたずねる語り芸パースペクティブ」全11回開催
- 2018 初中国公演（北京，蘇州，上海）
安田登プロジェクト「イナンナの冥界下り」イギリス，リトアニア公演

【ウェブ】ななふく日記 <http://tamamiho55.seesaa.net/>, <https://twitter.com/nanafuku55>

よねかわ としこ
米川 敏子 (生田流箏曲・地歌 演奏家)

【出生地】東京都千代田区

【生年月日】1950年10月7日

【学歴】－

幼少より、人間国宝である母・初代米川敏子から生田流箏曲、地歌三絃の指導を受け、古典の基礎を身につける。その後、作曲の基礎を乗松明広に師事して作曲にも意欲を示し、また海外の公演にも積極的に参加、その芸域を広げた。近年は、自らのリサイタルの開催とともにグループ「新しい風」のメンバーとしても積極的に活躍。また、創邦21理事長として創作にも力を入れ、作品数は70曲に及び、「箏曲」といった枠をこえた活動も注目されている。くらしき作陽大学音楽学部音楽学科（邦楽）特任教授。公益社団法人日本三曲協会常任理事。



【略歴】

- 1973 NHK 邦楽技能者育成会 18期卒業
- 1977 韓国, フランス, 中国, イタリア, ドイツ等にて演奏旅行実施
- 1989 国際交流基金より派遣されソ連にて演奏
- 1992 国際交流基金より派遣されフィンランド, スウェーデン, デンマーク, アイルランドにて演奏
- 1994 国際交流基金より派遣されスイス, オーストリア, ポーランド, ベルギーにて演奏
- 1995 芸術選奨文部大臣新人賞受賞, ハンガリー, ポーランドにて演奏
- 1996 「米川裕枝箏・三絃リサイタル」の演奏により文化庁芸術祭優秀賞受賞
- 2004 エクソン・モービル音楽賞(邦楽部門)受賞
- 2005 芸術選奨文部科学大臣賞受賞
- 2007 米川裕枝改め二代米川敏子を襲名, 研箏会五代目家元となる
- 2011 紫綬褒章受章
- 2015 平成26年度日本芸術院賞受賞
- 2010, 2011, 2016, 2017 チャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院(ロシア)他にて演奏

【主な作品】

『海～たゆとふ』『月彩』『風彩～箏・ヴィオラによる』『河千鳥』『天泣』『天の彩』『あくがれて行く』『彩の響～箏とチェンバロのための』